

ユニバーサルデザインに配慮した ITソフトの開発 を目指しています



高齢者や子どもでも簡単に使えるITが理想

「IT技術は若者や専門家のもの」——そんな先入観にとらわれている方はいらっしやいませんか。私自身ITの専門家ですが、父は「パソコンは使い方がわからない」「パソコンを導入しても、かえって時間がかかる」と不満を言うアナログ人間でした。そんな父の口癖を聞いては、上手に使えば、これほど使い勝手がよいものはないのにと残念に思っていました。

その後、父が大病を患い体が不自由になりました。そんな中キーボードを打ち込むこと一つをとっても非常に使い勝手が悪いことに気づきました。本来なら、病気で外出が思うようにできない、耳が聞こえにくい、上手く発音ができないなど、悩みを抱えている方にこそ、パソコンは手軽に外部の情報が入手できるツールであり、メールを使えば、家にいながら簡単にほかの人と連絡がとれて重宝す

るものです。

ところが、実際にはそうした方々が使いやすいような構成になっていない場合が多く、文字が小さかったり操作が複雑だったりしています。そこで、こうした方々にもわかりやすいソフトを作りたいと思ったのが起業のきっかけです。

こんなふうによく書くと、弱者救済を唱えているようですが、そんな大義名分を掲げているわけはありません。不慣れた人にも使いやすいということは、専門家にも、それなりにパソコンを使い慣れている人にも当然、使いやすくなるのです。だから、誰もが使いやすい理想のソフトに近づくために、使いにくいところを発見しては、そこを改善するという努力を重ねているだけなのです。ITを悪者にならないでほしいですね。ITは無機質なものではありません。人と人を「優しく」結んでくれる貴重な手段です。そのことをすべての人々が実感できるソフトを作ろうと思っています。

Selection

38

(有) アイ・エス・ティ

代表取締役社長

吉井 誠氏

Makoto Yoshii

1971年、岡山県生まれ。岡山県立大学大学院情報系工学研究科博士後期課程に在籍しながら、情報化のユニバーサルデザイン及びソフトウェアのユーザビリティについて研究中。岡山県中小企業支援センター登録専門家。高齢者やパソコン初心者にはパソコンの使い方をボランティアで教えながら、どういところかわかりにくいを直にヒアリングするというユーザー中心のソフト制作がモットー。現在、音声ブラウザを使った、目が不自由な方でも簡単にパソコン上でスケジュール管理ができる「え〜じゃろ〜が」を開発中。

Company Data

岡山県岡山市芳賀5303
岡山リサーチパークインキュベーションセンター316
TEL 086-286-9215
http://www.ist-japan.co.jp

- 設立 2003年4月
- 資本金 300万円
- 従業員 3名
- 事業内容 ホームページのユニバーサルデザインチェック、ホームページの作成、経営者・管理職のためのパソコン設定セミナー、ネットワークの構築・再構築・運用、システムの開発・改良、情報技術の総合コンサルティング

一生モノの言葉

「短所は長所に変えられる」

「一生、科学者であり続けたい」「夢を追い続けたい」という思いで大学を退官した時に起業しました。随分遅い出発のようには思えるでしょうが、当の本人は若さいっぱい、決して第二の人生などとは思っていません。私の持論は「人間は120歳まで健康に美しく生きられる」です。現代人は外見も精神的にもストレスで疲れて老けすぎているように思います。そこで、私が開発したのは世界初の安定・持続型のビタミンC。簡単に説明すると、酸素は人が生きていくために不可欠なものです。一方で人の細胞は酸素に触れるとどんどん老化していきます。この老化をくい止める作用があるのがビタミンCです。ところが残念なことに、ビタミンCは体内に長くとどまっていられない、水に溶けるとすぐに壊れてしまう、熱を加えると分解されてしまうなどの欠点がある

ありました。だから、ビタミンCを多く摂取すれば老化を抑制する働きが期待できるにもかかわらず、それができなかったのです。そこで、体内に入るまでは安定で、体内に入ると酵素の作用でビタミンCとなって作用を発揮するビタミンC誘導体を開発し、サプリメントとして商品化しました。さらに、アトピーなどのアレルギー体質を治すための免疫力強化を期待した安定型ビタミンC入り商品（ルイボス茶抽出粉末）も開発。私の目的は研究活動を続けることです。そのために開発した商品を作り、利益を次の研究開発に当てています。自分の好きなことを一生やれて、それが人の役に立つなら、これほど嬉しいことはありません。なぜそんなことが実現できたのかというと、これは「幸運を味方につける努力」、言い換えれば、いつでも幸運を信じるポジティブな思考を持ち続けたからです。これらから起業する皆さんも、こうした努力をしてほしいと思います。

人は120歳まで健康で美しく生きられる

(株)アスコルバイオ研究所

代表取締役

山本 格氏

Itaru Yamamoto

1939年、兵庫県生まれ。岡山大学名誉教授。薬学博士。2000年、科学技術振興事業団「井上春成賞」、日本発明協会「岡山県知事賞」、2003年、日本ビタミン学会「日本ビタミン学会学会賞」、2004年、大阪工研協会「工業技術賞」、東久邇宮記念会「東久邇宮記念賞」、2005年、山陽新聞社「山陽新聞賞(学術功労)」など、受賞歴多数。

Company Data

岡山県岡山市芳賀5303

岡山リサーチパークインキュベーションセンター301-309-310

TEL 086-201-0325

<http://www.ascorbio.co.jp/>

- 設立 2004年9月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 正社員6名 パート5名
- 事業内容 新規安定型ビタミンC(アスコルビン酸2-グルコシド)並びにその他ビタミンC誘導体、及びその他栄養補助食品・医薬品・化粧品・芳香機能性物質に関する研究開発、商品企画

一生モノの言葉

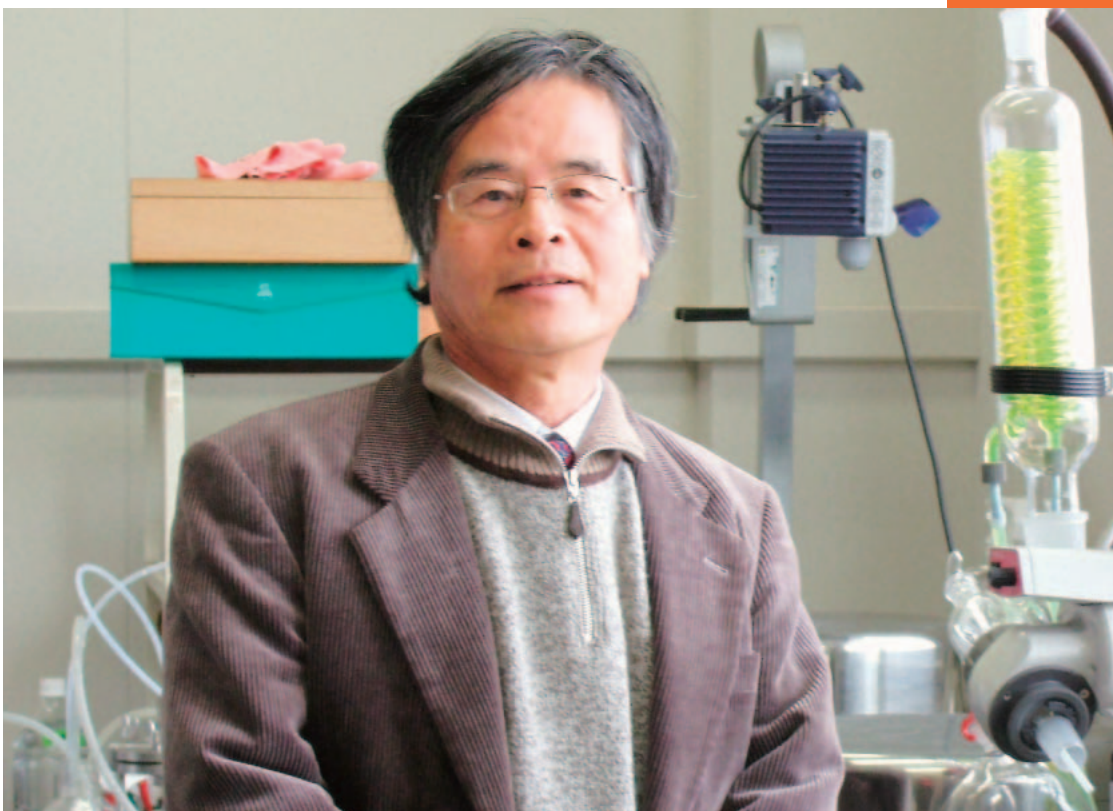
「科学者であり続ける」

あきらめることなく、夢を追い続けるという意味

Selection

39

世界初の安定・持続型ビタミンCで 美と健康を科学する



今「欲しい技術」は何か？
研究開発から設計分野まで

役立つ ソフトウェアを



よいものをつくるために…
いろんなツールを提供したい

例えば自動車の部品開発——プレスで鉄板を曲げるとき、どのくらいの力でやればいいのか？ そうした加工段階のデータや情報を正確に計算するためのソフトウェアを開発・提供するの、私たちの仕事です。それによって、業務の効率アップや製品の安定化が図れる、というわけです。

開発の際に用いるのが並列計算や解析技術などの専門性ですが、これはそもそも私が大学院ですと研究してきたテーマ。その技術をソフトウェア開発という事業にフィードバックしていく…まさに「産」と「学」が連携した会社の在り方を、我社は実践しています。

私はもともと技術畑の人間ですから、商売の素養はありません。それを、どうビジネスにつなげていくか…経営の専門家に来てもらって会社運営のためのノウハウ

ハウを学んだり、大学側の支援もあって起業へと至りました。今はキャンパス内のビジネス・インキュベーション施設にオフィスを設け、オフもないくらいの多忙な毎日を送っています。

でも、それは嬉しい悲鳴です。自分がつくったものを提案し、それでお客さまに喜んでいただける…こんなにやりがいの大きなことを伸び伸びとやれていることに、「起業してよかった」という思いを噛み締めています。

思えば、実家が自営業をしており、小さな頃からメカニクなものが好きでした。幼稚園のときの夢を記したものに、「会社の社長になる！」とあったのを見つけたときは、驚きましたね(笑)。

これからますます情報技術は進化、高度化していくでしょう。エコマスは、企業競争力の要となるような、それぞれの企業に合った製品・サービスを提供できるよきビジネスパートナーでありつづけてい…そう願っています。

Selection 40

エコマス(株)

代表取締役

安藤竜馬氏

Ryuma Ando

1974年、長門市生まれ。山口大学工学部機械工学科を出て大学院で修士・博士課程修了。「新事業支援」の名のもとに大学側のサポートを得て会社設立の準備を進め、卒院して2か月後に起業。2004年、大学のインキュベーション施設完成と同時に現在の地に移ってきた。趣味は「模型いじり」。工学博士。

Company Data

山口県宇部市常盤台2-16-1
山口大学ビジネス・インキュベーション施設内204室
TEL 0836-35-7911
<http://www.ecomas.co.jp/>
(2007年3月中にUP予定)

- 設立 2002年5月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 3名
- 事業内容 “ものづくり”の研究開発から設計分野までの計算におけるソフトウェア事業。並列計算技術を使ったコンピュータシミュレーションで、画像解析システムなどを開発。

一生モノの言葉

「やりたいことをやる」

「染色体工学」なんて堅苦しいので、話をパソコンに置き換えてみましょう。データ容量増大に伴い、記憶媒体はフロッピーからCDへと移行しました。この物語ではネズミがパソコンという設定。CDは我々の世界でいうところのベクター（運び屋）です。フロッピー（小容量）しかない遺伝子治療の世界で我々が初めて「ヒト人工染色体」というCD（大容量）ベクターを開発したことで、筋ジストロフィーなどの難病の克服に光明をもたらしたいというのがあらずじです。

新薬開発のプロセスは、細胞レベルでの実験に始まり、動物実験、人への臨床実験を経て製品化に至ります。当然、動物と人は違います。動物実験がクリアできても、臨床実験もクリアできるといって成り立ちません。2つの過程の間には深い溝があり、それを埋めるのに莫大

な開発コストと時間が必要です。ならば、人の反応に似た動物が動物実験段階で使えれば、その浪費が省けるうえ、臨床実験の早期予測とともに市場への早期投入も可能に。その動物を作るためのツールが、ネズミのES細胞に大容量の遺伝子データを運び、ヒト型マウスを作製することに成功した我々のCDなのです。

開発者の押村光雄教授にとっては、染色体の不思議さを追求した結果、世界初の領域に達したといった感慨のようです。ここに至るまで人一倍の努力は当然あったでしょう。押村教授に惹かれてこの世界に入った私は、染色体については素人でも互いに共通するのは、面白いことを貪欲に欲しがる気持ちで、その思いは何事に対しても重要ではないでしょうか。

夢のある物語で、世界が求める技術。研究者たちの努力で世界は変わります。それを夢見る彼らをスターにしたい一念で今の役にいる私は、社長よりもプロデューサーといった方が適切でしょうね。

大容量の遺伝子データを運べる ヒト人工染色体の開発に成功

(有) chromocenter (クロモセンター)

代表取締役

松岡隆之氏

Takashi Matsuoka

1959年、鳥取県米子市生まれ。大学卒業後、家業の(有)桃山窯業を継ぐ。後に独立して(有)ビジネス工房サムズを設立し、(財)鳥取バイオサイエンス振興会評議員、(財)鳥取県産業振興機構地域振興コーディネーターなどを歴任。2005年、同社代表取締役に就任。病氣治療に役立つ遺伝子を、細胞内に安全に運ぶ「ヒト人工染色体ベクター」の実用化などの研究をサポートしている。

Company Data

鳥取県米子市米原8-14-39

TEL 0859-33-5173

<http://www.chromocenter.com/>

- 設立 2005年6月
- 資本金 350万円
- 従業員
- 事業内容 遺伝子再生医療や医薬品開発・機能性食品開発に向けた染色体工学技術の開発とその応用

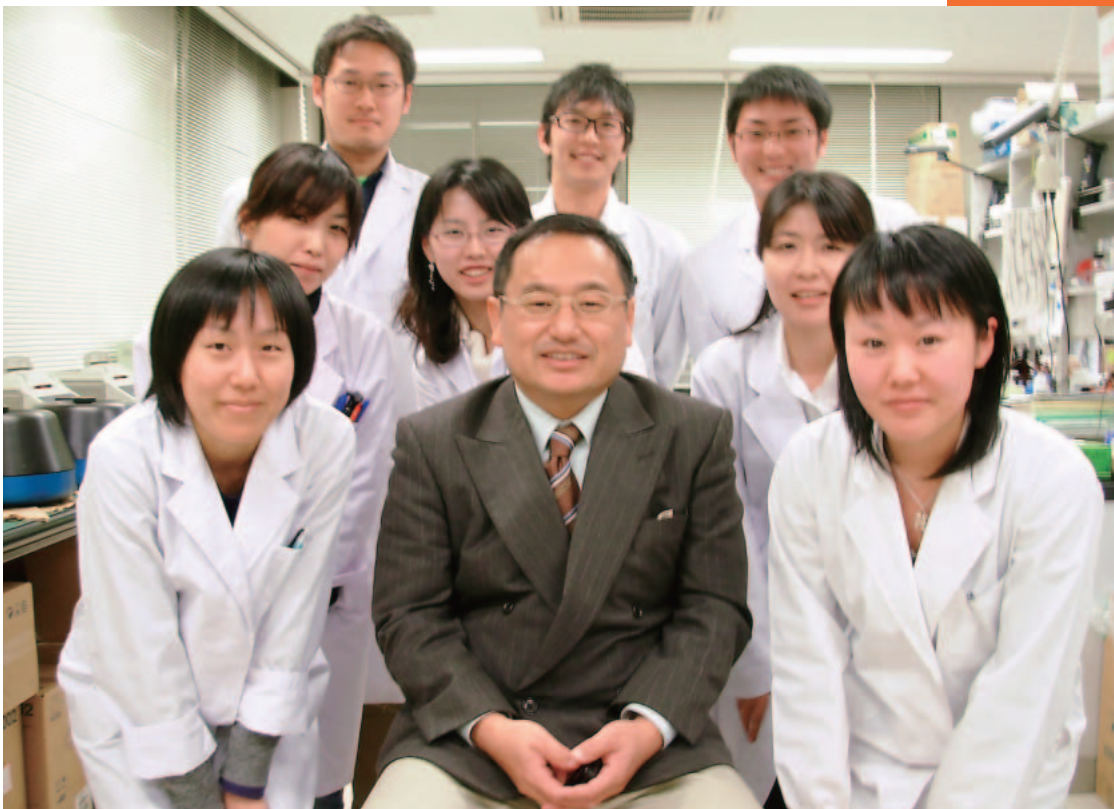
一生モノの言葉

「ありがとう」

Selection

41

世界有数の染色体工学技術で新産業創造めざす 鳥大発のベンチャー企業



情報化社会の黒子に徹してお客様に感動のサポート力を届けるために邁進する

若きIT企業家



**学生ベンチャーから出発した
確かな技術と細かなサポート**

創業は私が大学四年のとき。当時、岡山では珍しかった学生ベンチャーとして話題になりましたが、自分ではそれを意識していませんでした。その前からサラリーマンと学生の二足の草鞋でしたから。というのも大学入学後、出来高制のバイトを探しているうちに、当時出始めたホームページ制作を手がけて。名古屋のベンチャー企業に入り、サラリーマン生活。一週間のうち、火曜と水曜に大学の授業や活動を集中させて、残りは名古屋の会社を拠点に働くハードな生活を送りました。その後、東京のベンチャーでは取締役にも就き、営業兼技術として何でもこなしましたね。

を得られるかと。その後、有限会社を設立し、大学院も終了。今は会社経営に専念していますが、仕事が生活という基本は学生時代と変わっていません。でも私はそれが苦でないから、北海道のお客様でも会いに行きますよ。こんな遠くまで本来に来たの、と逆に驚かれたりもします。そんなきめ細かいサポートと対応のスピードの早さなどのITらしからぬ対応がここまで成長できた要因かな(笑)。お客様の予想以上のサービスを提供できているかなと。お客様のビジネスツールを作成するということは、お客様を裏から支える人工心臓の存在だと思って、サポートしています。

思えば給料が払えなかったこともありましたが、社員の生活もかかっていたので私は必死でした。起業する人は、様々なことに躍らされることなく、ひたむきに頑張ってほしいですね。

今後の目標は何かで一番になることかな。例えば安全安心快適サービスで。

Selection

42

(株)チロロネット

代表取締役

安藤 究真氏

Kyuma Ando

1977年岐阜県生まれ。岡山理科大学社会情報科学科一期生。在学中、名古屋、東京のベンチャーなどを経て、大学四年の2000年7月に合資会社チロロネット設立。岡山の学生ベンチャーの草分け的存在となる。2001年には有限会社チロロネットを設立し、2003年の大学院終了後、組織を株式会社に変更し、今に至る。

Company Data

岡山県倉敷市西富井636-30

TEL 086-460-3956

<http://www.chiroro.co.jp>

- 設立 2001年12月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 5名
- 事業内容 レンタルサーバー、ストリーミング配信、Web制作、システム開発、セキュリティソリューション

一生モノの言葉

「不言実行」

私の人生の転機は研究員としてアメリカの大学に行ったこと。実用化研究と社会貢献の結びつきを目にしてこれだ！と。現在、様々な形で結実しています。

まず二〇〇四年に臨床生命科学科を立ち上げました。これは医食同源、つまり臨床科学と食科学が繋がったもので、健康機能性食品や医薬品を研究しています。学生の就職も好調なんですよ(笑)。

他に私は沖縄の素材を使って食品開発をする加計研究所所長、地域や企業と連携し、岡山理大の教員が結集した「社会連携研究推進事業」のプロジェクトにもメンバーとして参加しています。

前後して周囲の勧めで医薬品や健康食品を開発、販売する大学ベンチャーを起業しましたが、これも社会貢献のため。役立つ製品を開発し、利益還元できたらと思います。頑張っています。

最近では、抗老化作用のある補酵素コエンザイムQ10の親水性向上の開発に成功。また、辛い唐辛子カプサイシン配糖体も、ダイエット効果実証済みです。沖縄の食材を使ったダイエットサプリや、カプサイシン配糖体を使ったサプリメントも販売予定で、売りたい方募集中(笑)。すべて化学的裏づけで実証しているのが特徴です。さらに副作用のない水溶性タキソール(抗がん剤)の開発を東大や企業と共同研究しています。成功すれば、社会に役立つし、一兆円産業ですが、資金調達が課題なんですよ。

ビジネスでは、研究とは違った大変さを実感しています。一人で販路を開拓し、「何掛け」も知っています(笑)。反面、ビジネスは動きがすぐに繋がって面白。交友関係も広がり、研究の刺激にもなる一方で、自分にも厳しくなりましたよ。

今後は収益で大学への寄付や子供の理科離れを防ぐための支援をしたい。私の出发点も理科好きの少年でしたから。

大学ベンチャーとして健康食品や化粧品などを開発

(株) バイオ・タキソール

代表取締役社長

浜田博喜氏

Hiroki Hamada

理学博士。岡山理科大学臨床生命科学科教授。沖縄の加計研究所所長。1952年8月3日愛媛県出身。広島大学大学院終了。岡山理科大学に奉職し、オクラホマ州立大学などの研究員も。帰国後は2004年臨床生命科学科を立ち上げ、学科長に就任。2006年ベンチャー功労賞など受賞も多く、テレビなどマスコミにも多数出演。母校の広島大学化学同窓会の応援が何より嬉しいとか。

Company Data

岡山県岡山市芳賀5303

岡山リサーチパーククインキューベーションセンター320

TEL 086-286-9515

<http://www.bio-taxol.com>

- 設立 2004年4月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 3名
- 事業内容 健康や環境に配慮した医薬品、食品、化粧品の開発販売。医薬品では、世界初の副作用のない水溶性タキソールを開発中。食品では沖縄の素材を使った健康食品などを開発し、現在もウコンの中のクルクミン水溶化など実験中。また地元岡山のピオネを使ったピオネ耐も開発。

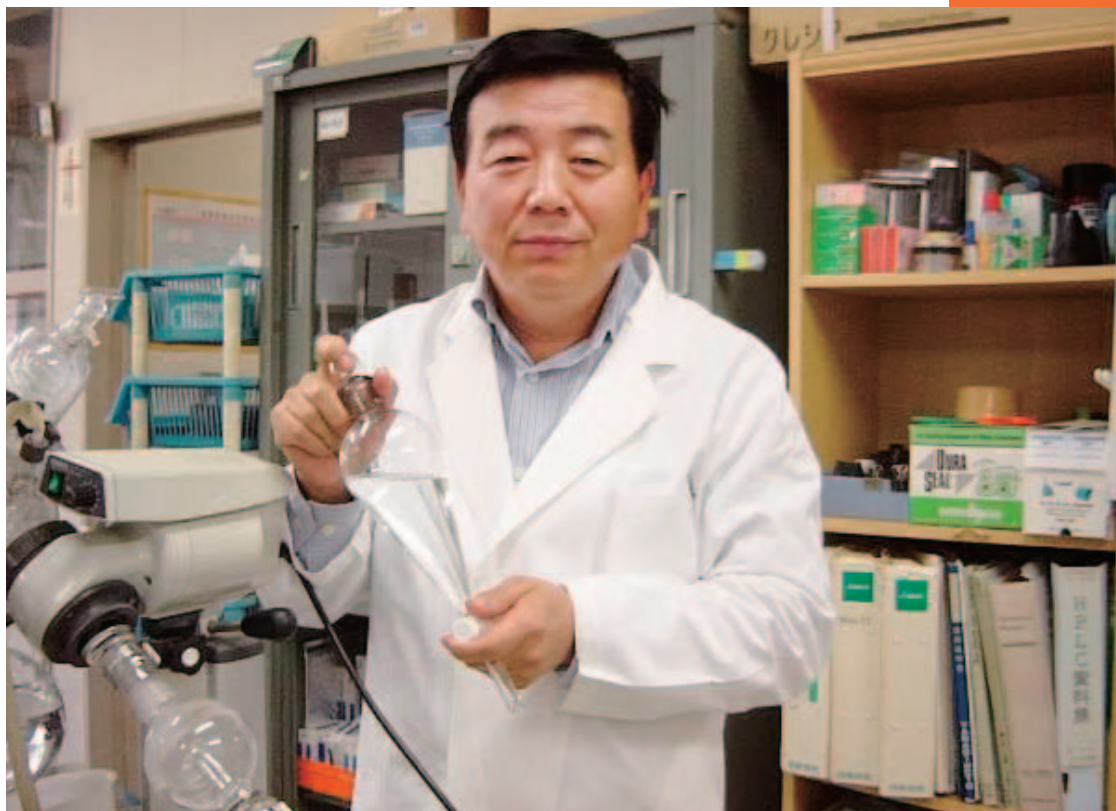
一生モノの言葉

「いまやらねばいつできる わしがやらねばたれがやる」
平櫛田中の言葉

Selection

43

様々な実用化製品を生み出す 研究者にして経営者 モットーは社会貢献



最初から200%を求めない 現状のニーズの120%を目指すことが大事 その積み重ねがやがて 200%になるのだから



広島大学発のベンチャー企業 テーマは「良い医療をどう提供するか？」

広島大学病院では、特定の利益を誘導してはいけないという公の立場上、せっかくのアイデアがあっても論文を発表するまでにとどまり、形にできないジレンマがありました。「大学内の知的財産をもっと地域社会にも生かすことができないうるか？」と考えた時に、そのアイデアを製品化してみれば良いと思ったのが、この会社を作るきっかけでした。

メイン商品の「患者百選」とは、診療内容のノウハウをデータベース化し、ウェブ上で全国的に配信しているソフトです。利用者である薬剤師が、病院や薬局を訪れた患者の症状をソフトで検索し、同じような事例を調べ、適切な処方をするための判断材料として使います。薬剤師の立場では、「この患者にはこの薬を出しました」という結果しか分ならず、患者と医師の間でこういった診療が行われたの

か分かりません。去年から薬学部が6年制になり、教える側も養成しないといけないという問題に加え、診療内容を知りたいというニーズは以前からあったのですが、実用化したものはありませんでした。それなら私が作るうと思いい、薬剤師の免許を持った大学院生を教授（医師）の診察中の後ろに立たせて記録を残しました。4年間で2500人の症例を書き留め、その後176症例にまとめたものをウェブに載せて商品化したのです。

その売り上げの一部を大学に寄付することで研究費に反映でき、医療従事者のレベルを上げ、延いては医療水準の向上という形で地域社会にも貢献できるという、良い流れのサイクルが出来上がったと自負しています。

今ある現状のニーズに自らを合わせ、「できそうのできなかったものを形にしておく」ことがとても面白いですね。これからも背伸びせず、身の丈にあった仕事をしたいのが私のスタンスです。

Selection

44

(有)ファーマシスト・サポート

取締役

森川則文氏

Norifumi Morikawa

1958年生まれ。徳島県出身。1983年、徳島大学大学院薬学研究科修士課程修了。同年4月より香川医科大学医学部付属病院で薬剤師として、1991年より大分医科大学医学部付属病院で薬剤部副部長として歴任。2002年から広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授を務めながら、2005年に(有)ファーマシスト・サポートを設立。

Company Data

広島県広島市中区白島北町3-14

TEL 082-257-5320

http://home.hiroshima-u.ac.jp/morigp

- 設立 2005年6月
- 資本金 300万円
- 従業員 2名
- 事業内容 薬剤師の技能開発・再教育用の教材ソフト「患者百選」をはじめとした、薬剤師業務支援のためのPCソフト開発、教材・書籍等の著書

一生モノの言葉

「ギブアンドテイク」

最初から見返りを求めるということではなく、「99%のギブで1%のテイクがあればよし」という意味。

ヒトの肝臓を持ったマウスで 臨床実験がスピーディーに

私たちのビジネス展開のポイントが、ヒトの肝臓を持ったマウス「キメラマウス」です。このキメラマウスを持っている企業は世界でも当社だけです。ヒトの肝臓を持ったマウスがなぜ特別なのかというと、新薬開発の臨床実験に非常に有効だからです。新薬の開発では、本当にその薬が効くのか、副作用がないのかなどの実験を行います。始めは動物実験で何度も試し、効果的で副作用が少ないとなれば、最終段階として特定の病院での臨床試験が行われます。ところが、動物には効果があったのに人間には効かないということも起こります。また、安全にも万全を期してはいますが、それでも動物実験のデータだけでは「人間にも安全」とは100%言い切れません。そんな問題を解決できるのがキメラマウスです。薬がヒトの体内に入った場合、ほとんどは肝

臓で分解されます。だから、その薬がヒトの肝臓でどうなっていくかがわかれば人間が実際に服用した時とほぼ同じデータが得られることになります。しかも動物実験をして色々な手法で検査データを取ることができるというメリットもあります。薬品業界の市場は世界が相手ですから競争も激しく、そこへ参入するのは至難の技です。このため、ここ数年は、売り込むというよりは、基礎データを作ったり、特殊なキメラマウスを育て上げる独自のノウハウの蓄積に費やしました。世界初の技術ですし、人の命に関わる分野ですから、事業拡大だけが目的ではなく、一方で生命科学技術を扱っている重みを忘れてはいけなと思っています。自身は、この技術の開発者ではありませんが、私たちにとって貴重なこの新技術を普及させることと会社を経営することのバランスを上手く取っていくことが、私に課せられた責任だと思っています。

(株)フェニックスバイオ

代表取締役社長

藏本健二氏

Kenji Kuramoto

京都大学農学部卒業。(株)トーマン、三和澱粉(株)を経て、(株)特殊免疫研究所代表取締役社長に就任。2005年より、現会長の中村徹雄氏の後を受け、(株)フェニックスバイオの代表取締役社長に就任。キメラマウスを使った受託試験サービスのほかに、培養毛乳頭細胞を使った毛髪再生療法の開発も行っている。ホームページを見た人々から「早く販売してほしい」という熱烈な要望が多く、改めて毛髪への関心の高さを実感しているという。

Company Data

広島県東広島市鏡山3-4-1

TEL082-431-0016

<http://phoenixbio.co.jp>

- 設立 2002年3月
- 資本金 7億2700万円
- 職員 33名
- 事業内容 ヒト肝臓を持つキメラマウスを用いた新規医薬品開発の受託試験サービス、培養毛乳頭細胞の自家移植による毛髪再生療法の開発

一生モノの言葉

「同歡共苦」

Selection

45

高度な生命科学技術を実用化することで 医療技術&新薬開発に貢献!

